

重点課題

【課題1】主語を明らかにし、誰のどのようなことに心を打たれたのか分かるように書く問題で、「主語」あるいは、「どのようなこと」の内容がないものが多い。特に「主語」を補う文章と問題文の条件をしっかり読んで構成を考えて適切な文章を書く力が弱い。(A8四2 書くこと 平均正答率7.7%)

【課題2】目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く問題で、条件のいずれかが欠如しているものが多い。また、全く問題の意味が理解できず他の部分から引用しているものもあった。(B1三 平均正答率3.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】誤答例として「彼の優しい行動に心を打たれた」のように主語を書いたつもりで書けていないものが多かった。主語を目的語と置き換えて表記している人もいるので、「私は」、「僕は」、「彼は」など普段から主語を省略せず、意識して書く力を付けていく必要がある。

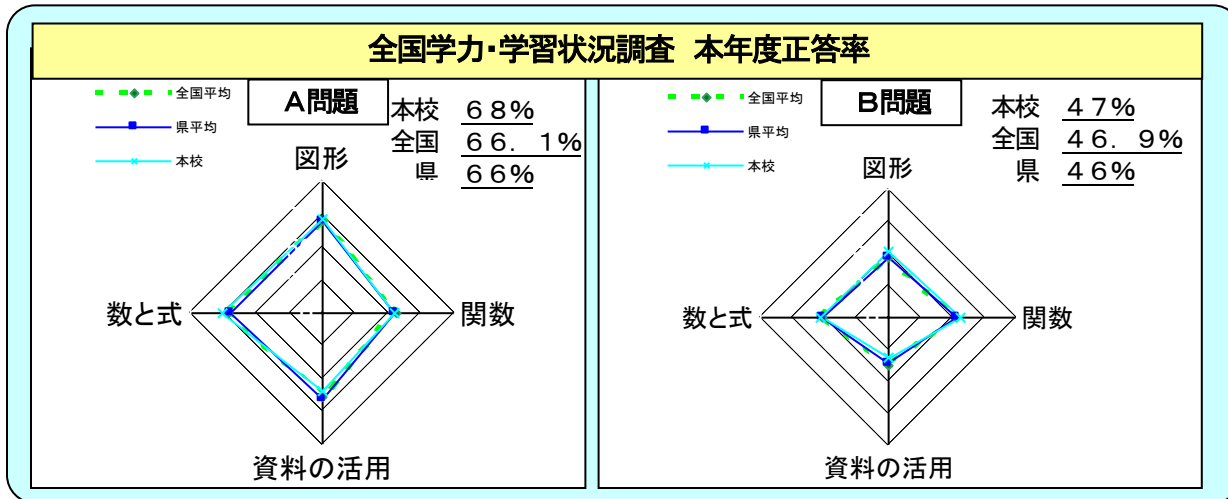
【課題2】誤答例として、条件のいずれかが欠如しているものが38.5%、問題文の意味が理解できず他の部分から引用して書いているものが57.7%と問題文の意味が読み取れていない生徒が過半数なので、問題文をしっかり読む力と、内容を整理して書く力の両面での力を付けていく必要がある。

※ 小中一貫した取り組みについては、「書く」「話す」活動を授業時間内に必ず位置付けして、指導を継続して行っていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2、3年生期末テスト			1、2年生 学年末テスト
目標値				50%			70%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 H30 全国学力		2年生 H30 全国学力	1年生 H29 基礎基本	
目標値			50%		70%	50%	
実施後数値							

来年度に向けて

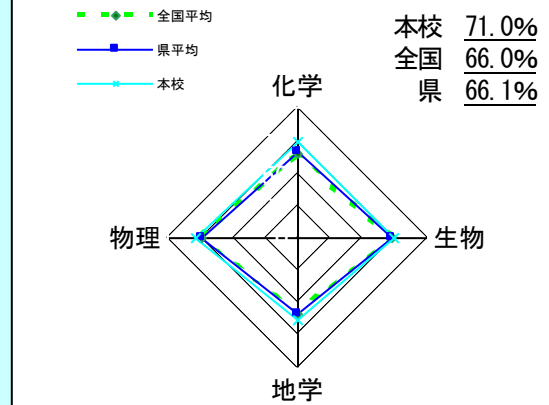


重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）
<p>【課題1】 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。（設問3（3））関数（平均正答率11.5%）グラフのy座標について記述しているが、x座標についての記述していない生徒が7.6%</p> <p>【課題2】 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。（設問5（1））資料の活用（平均正答率19.2%）百分率を求める式の記述で、×100をしていない生徒が30.8%</p>	<p>【課題1】 グラフや表から必要な情報を読み取り、数学的用語を適切に使い説明する機会を多く取り入れる。また、授業の中でも切り返しの問いかけなどを用いて、詳しく説明させる。</p> <p>【課題2】 実生活や学習の様々な場面に活用する力を身に付けさせ、生徒一人一人に有能性を示す授業を取り入れる。ペアや班活動を通して解き方や考え方を比べ、思考を深める。</p> <p>※ 小中一貫した取り組みについては、データの活用領域において、身の回りの事象について適切な表やグラフを用いて考察し、表現する学習活動を継続していく。</p>

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	来年度に向けて
学年・方法			1・2年生 期末試験			1・2年生 学年末試験		
目標値			60%			70%		
実施後数値								

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1・2年生 期末試験			1・2年生 学年末試験	
目標値			60%			70%	
実施後数値							

全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題

- 【課題1】 植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる。(設問9 (2)) 活用 (平均正答率26.9%)
土(鉢, 皿)の場所を指摘し, 土(鉢, 皿)に含まれる水が状態変化して水蒸気が発生し, 湿度が上がる仕組みについて記述できない生徒が53.8%
- 【課題2】 オームの法則を使って, 抵抗の値を求めることができる。(設問6 (2)) 知識 (平均正答率65.4%)
「オームの法則」を使って抵抗の値を求める知識を身に付けていない生徒が30.7%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】 自然の事物・現象を科学的に探求する上で, 「原因として考えられる要因」をすべて指摘し, 問題解決の知識・技能を活用して, 条件を制御した実験を計画する機会を設ける。「原因として考えられる要因」を指摘する際には, 協働的な活動を取り入れるなどし, いろいろな要因について吟味させる。
 - 【課題2】 複数の抵抗器についての電圧と電流の大きさの関係のグラフから, グラフの傾きが小さいほど電流が流れにくいことを自ら見いだせるように指導を行い, 抵抗の大きさはグラフの傾きの逆数で表せることを理解させるとともに, 基本的な計算問題を解く機会をつくる。
- ※ 小中一貫した取組については, 目的意識をもたせ, 課題解決に向けて協働して観察・実験を行わせることにより, 基礎的, 基本的な知識・技能の一層の定着を図るとともに, 表現力を高める。

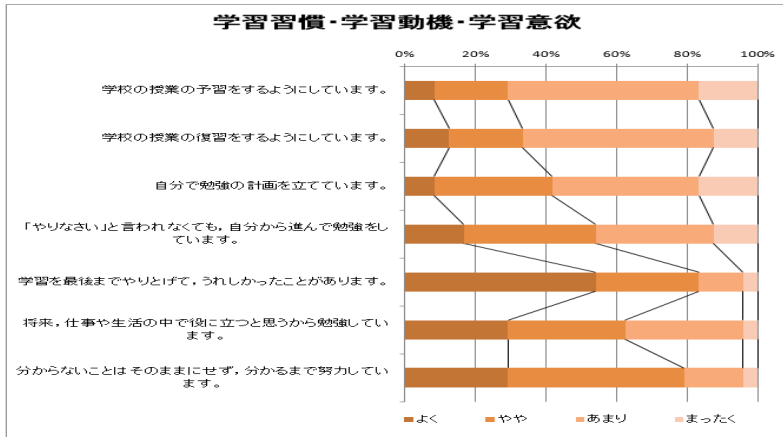
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生 H30「全国学力」	2年生 復習テスト		
目標値				50%	50%		
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生 H30「全国学力」		2年生 学年末試験	
目標値				90%		75%	
実施後数値							

来年度に向けて

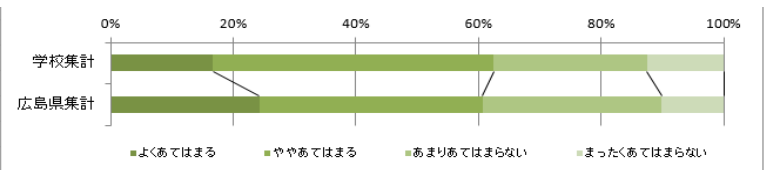
2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習

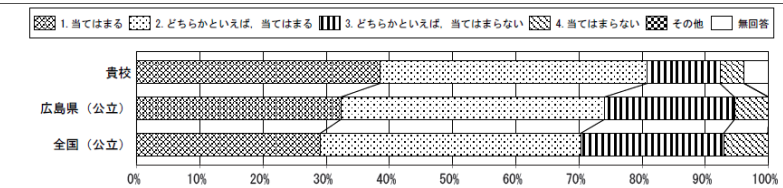


(2) 教科

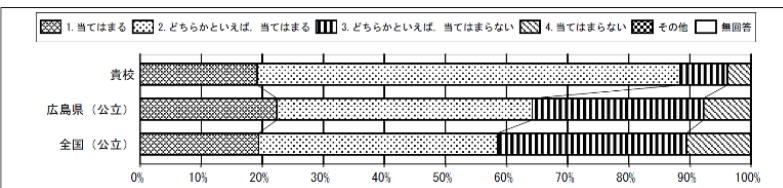
国語の授業では、わからない言葉や漢字は辞書を使って調べています。



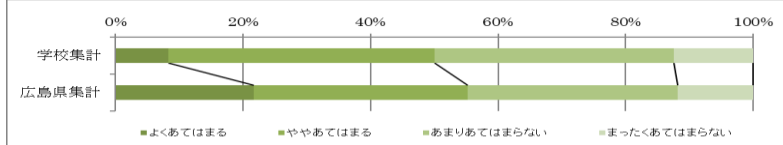
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を確認めますか



理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	学校の授業の復習をするようにしています。(本校 33.3%, 広島県 62.4%)	宿題の未提出が多いため、居残りをしたり、家庭との連携を密にしたりすることで、提出物をやらせきる。	2	50%	アンケート	3学期		
全国	家で、学校の授業の復習をしていますか。(本校 52.0%, 広島県 53.4%)	授業の中や提出物で復習した内容を確認したり、復習したことを文章でまとめたりすることで力を付けていく。	3	70%	アンケート	3学期		

	生徒の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 わからない言葉や漢字は辞書を使って調べています。(本校 41.7%, 広島県 63.4%)	辞書を各クラスに常備することでいつでもすぐに調べられる環境を整える。	2	70%	アンケート	3学期		
数学	基礎・基本 数学の授業では、問題を解くときには、前に習ったことが使えないかいつも考えています。(本校 62.5%, 広島県 76.6%)	既習事項との相違点に着目させることで、既習と本時の内容の繋がりをもたせる。	2	70%	アンケート	3学期		
	全国 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を確認めますか(本校 80.8%, 広島県 74.0%)	友達の意見を聞く機会を多く持ち、多様な考えに触れることで、視野を広げさせる。	3	85%	アンケート	3学期		
理科	基礎・基本 理科の授業では、観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述したりする方法について学んでいます。(本校 62.5%, 広島県 71.8%)	授業での指導と併せて、結果のまとめ方についての掲示物を作成し、いつでも見ることができ、活用できる環境をつくる。	2	80%	アンケート	3学期		
	全国 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。(本校 88.4%, 広島県 64.2%)	観察や実験の前には予想をさせ、予想をもとに、どのようなことについて調べればよいか考える機会をつくる。	3	90%	アンケート	3学期		
英語	基礎・基本 英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。(本校 50.0%, 広島県 55.3%)	物語文を読んだり聞いたりするときは、内容を読み取るだけでなく、メモを取りながら聞き、感想や意見も書いたり、発表したりする機会をつくる。	2	60%	アンケート	3学期		